

2013年(平成25年)2月20日(水曜日)

超音波洗浄・バリ取り

赤丸急上昇中の若手人
気歌手が意外な苦勞人であ
ったりするように、新
進気鋭のベンチャー企業
に紆余曲折の過去がある
ことも珍しくはない。

超音波洗浄機によるバ
リ取り技術で注目を集め
る(株)ブルー・スターR&
D(相模原市中央区横山
台1-31-1、柴野美雪
社長)は設立3年目だ
が、ここに至るまでの道
のりは、栄光と挫折が入
り混ざった長く複雑なも
のである。

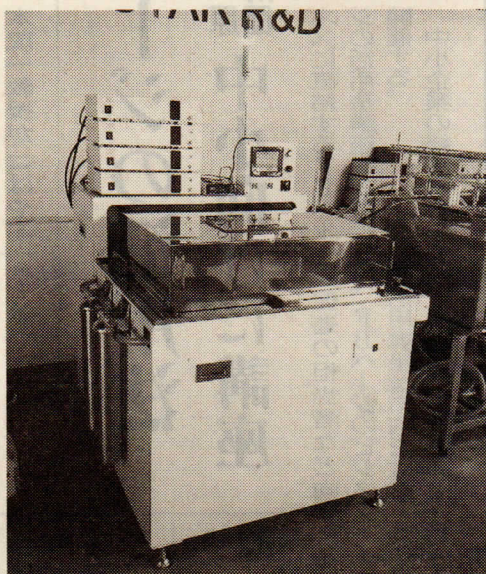
現在、同社の技術顧問
を務める柴野佳英氏こそ
は、その道程の中心的存
在として、同社のバック
ボーンを築き上げてきた
人物。大学で電気工学を
専攻した同氏が畑違いの
洗浄分野に足を踏み入れ

たのは、新卒で就職した
企業を辞した後、金属主
体の工業用洗浄機メーカ
ーに再就職したのがきっ

分野に関わるこの技術に
魅了された柴野氏は、入
社まもなくその開発研究
に没頭することになった。
3年後には外資系シリ
コンウェア研磨機メーカ
ーに転職し、洗浄機事業
部を社内に取り上げた。
ところが技術者として社

天職に巡りあえたと思っ
た」と同氏は振り返る。
3年後には外資系シリ
コンウェア研磨機メーカ
ーに転職し、洗浄機事業
部を社内に取り上げた。
ところが技術者として社

さがみの
フロンティア
人と企業群
(株)ブルー・スターR&D



同社Web実験室の常設新型超音波バリ取り装置

破壊物質とし
て規制され、
業界全体がリ
スタートを余
儀なくされ
る。そんな中
で同氏は90年
代初頭、いち
早く水による
洗浄方式を考
案。キャピテ
ーション(液
体の流れの中
に生じる圧力差により泡
の発生と消滅が起きる現
象)をコントロールする
ことで、水でも洗浄効果
を高めることができると
いう一貫した理論に基づ
き、再び業界をリードす
る。
しかし今度はバブル崩
壊に襲われる。それでも
洗浄だけでなく、新たに
バリ取り技術として超音
波を実用化するなど付加
価値を高め、再復活を目
指していたが、外部から
の圧力で社長の座を追わ
れた。また、開発部門と
して持ち上げていた組織
も、国産ビジネスの綾で
閉鎖に追い込まれた。
そんな複雑な過去を背
負ってのブルー・スター
R&Dなのだが、超音波
技術に対する柴野氏の情
熱は全く衰えていない。

時代は1970年代半
ば。確たる理論の裏付け
がないまま、超音波洗浄
技術が方々で実用化され
る中、物理化学、科学、環
境など工学周辺の多様な

「技術者として自分が
やりたい要素が全て含ま
れている上に、研究開発
でも市場でもまた黎明期

員の意識改革を図ろうと
した行動がトップの逆鱗
に触れ、営業に左遷、それ
でもすぐに辞職せず計4

面のノウハウを蓄え、1
984年に晴れて超音波
洗浄機メーカーを独立開
業。独自の理論をもとに

に生じる圧力差により泡
の発生と消滅が起きる現
象)をコントロールする
ことで、水でも洗浄効果

からだろ
う。
(矢吹 彰)

世に翻弄されながらも衰えぬ超音波技術への情熱